

田中康夫「前田の懲戒免職おかしい」

最高検はFD(フロッピーディスク)のデータを改ざんした前田恒彦元主任検事を11日に起訴し、これに先だって法務省は同日付で懲戒免職とした。

これについて、田中康夫代議士が14日、クレームをつけた。

「懲戒免職はおかしい。判決が出るまで休職にすべきだ。推定無罪の原則以前の話題で、ルールを変えて前例のないことが行われた」

ルールを変えた、とは。

「これまで中央官僚も地方公務員も、逮捕された場合、推定無罪が援用されてきた。典型例は、元外務省で作家の佐藤優で、長く『起訴休職・外務事務官』の肩書で原稿を書い

ていた。法務省は裁量行政で前田を免職にした。柳田法相はこれを決めたのか、と聞きたい」

「前田が何かしたか、と聞きたい」

「前田が何かしたかも知れない」

前田がいかにか悪い以前の問題として、法治国家の原則がある」

田中氏は新聞記者に言った。

「もし君たちが覚えのない痴漢容疑で捕まったら、新聞社から即日、懲戒解雇される話だ。懲戒免職は退職金も、もらえないのだぞ」

なぜ検察と法務省が懲戒免職を急



4081

いなのか。田中氏の推測。「早くトカゲのしっぽを切りたところ、組織を守るつもりが、結果的に組織をぶち壊すことになりかねない」

「2人が残っている。犯人隠避容

疑で逮捕された大坪前特捜部長と佐賀副部長だ。この2人は「検察の書いたストーリーに乗らない」と調書

に一切サインしていない。真の爆弾は前田ではなく、この2人の可能性が出てきた」

亀井静香氏も田中氏に歩調を合わ

せて記者会見で「前田の懲戒免職はおかしい」と発言した。この亀井氏と田中氏は「国民新党・新党日本」の会派を組み、民主と連立している。

「衆院4人、参院3人の計7人。これを七味唐辛子だ、と言っている。民主党は生煮えの混ぜご飯か、伸びた煮込みうどんだ。われわれが味を付けて、食べられるようにしている」

菅政権に遠慮なく批判するので、民主党内に反発がある。田中氏が反論した。

「おかしいことをおかしい、と言うのが、真のイコール・パートナーだ」

(政治評論家)

「判決出るまで休職とすべし」